

健康で豊かな高齢社会のために 名古屋大学ライフトピア

第163回大幸ライフトピア連携研究会

保健学セミナー

日時：2026年 **5月13日** (水) 18:15~19:45

形式：ハイブリッド（対面+Zoom配信）

会場：名古屋大学大幸キャンパス 本館2階 第2講義室

対象：本学内の大学院生、学部生、教員、医療従事者

「ウェアラブルデバイス時代の新常識： 24時間行動で健康を設計する」

総合保健学専攻 予防・リハビリテーション科学 講師

出口直樹 先生



24時間行動は、睡眠・座位・低強度・中高強度活動の時間配分を扱い、相互依存性を踏まえて置換の視点で解析・解釈する。

1日は24時間という有限の時間配分であり、いずれかを増やせば必ず他が減る“相互依存”のデータ（組成データ）である。この特性を無視して単一指標のみで結論を出すと、介入の実装や解釈に齟齬が生じるとされている。

本講義は、加速度計やウェアラブルデバイスで取得される「24時間行動」を、臨床での具体的な活用法に加え、研究で再現性高く扱うための評価パイプラインとして整理し、その可能性と限界を具体的に論じる。

このセミナーは保健学セミナー（THP養成コース）の単位認定プログラムです。

問合せ先： kawashima.arisa.s9 (@) f.mail.nagoya-u.ac.jp

担当：川島